

News Release



金沢大学
ダイバーシティ推進機構

Institute for Promotion of Diversity and Inclusion, Kanazawa University



雑談のチカラ

ZATSUDAN NO CHIKARA PROJECT BY KANAZAWA UNIVERSITY



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY

令和6年11月29日

各報道機関文教担当記者 様

ノーベル賞カタリン・カリコ博士と金沢大生がセッション 雑談のチカラ×ダイバーシティ推進シンポジウム

このたび、金沢大学ダイバーシティ推進機構は、ハンガリー出身・アメリカ合衆国在住の生化学者であり、2023年度ノーベル生理学・医学賞を受賞されたカタリン・カリコ博士をオンラインでお招きし、雑談のチカラ×ダイバーシティ推進シンポジウムを開催します。

シンポジウムでは、ご自身の研究についてご講演いただいたのち、金沢大生と、女性の理系進学の意義、研究・ワクチン開発の原動力、さまざまな困難や挫折を乗り越えて生きる力・行動力などについて、学生からの質問に答えていただく形式のトークセッションを行います。

ノーベル賞受賞者と対話できる貴重な機会を通して、金沢大生が科学の最前線の知見に触れるとともに、今後のキャリアにおいて新たな視点を得るきっかけとします。

つきましては、当日の取材・報道をよろしくお願ひします。

取材を希望される場合は、別紙取材申込書を12月4日（水）15時までに本件照会先までお送りください。

【雑談のチカラ×ダイバーシティ推進シンポジウム】

日	時	令和6年12月5日（木）10:30～11:30
会	場	金沢大学角間キャンパス バイオマス・グリーンイノベーションセンター（BGIC）ステップホール
対	象	どなたでも参加可能（入場無料・事前申込が必要）
詳	細	別添チラシのとおり
主	催	金沢大学ダイバーシティ推進機構

※取材の際は、各社記者章を携帯し、腕章などで報道関係者であることを明示してください。

講師：カタリン・カリコ博士

「新型コロナウイルス感染症に対する効果的な mRNA ワクチンの開発を可能にしたヌクレオシド修飾技術に関する発見」が高く評価され、2023年にドリュー・ワイスマン（ペンシルベニア大学教授）とともに2023年度ノーベル生理学・医学賞を受賞。現ビオンテック上席副社長・ペンシルベニア大学客員教授。

【本件照会先】

金沢大学ダイバーシティ推進機構 加藤
TEL 076-234-6905
E-mail : cd_lab@adm.kanazawa-u.ac.jp
Web : <https://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

申込日：令和6年 月 日

取材を希望する場合は、本申込書を
12月4日（水）15時までに
下記のE-mailへ送信してください。

E-mail

cd_lab@adm.kanazawa-u.ac.jp

ノーベル賞カタリン・カリコ博士と金沢大生がセッション 雑談のチカラ×ダイバーシティ推進シンポジウム 取材申込書

報道機関名： _____

取材記者氏名： _____ 様

連絡先： _____ (_____)

同行者（カメラマン等）： _____ 名（上記記者除く）

テレビカメラ等の内訳（台数）： _____

（例）テレビカメラ 1台

<取材申込先>

金沢大学ダイバーシティ推進機構 加藤

TEL：076-234-6905

E-mail：cd_lab@adm.kanazawa-u.ac.jp